

## マナーのツボ

### 職場にお土産を買い忘れたら



お土産を買う風習は、ご近所から銭別(せんべつ)をもらって寺社のお参りに行き、お札とその土地の名物を買っていた名残です。では現代の働く人のお土産事情はどうでしょう。お裾分けの精神で、土産話と一緒に渡す方が多いようです。その一方で、休みを取るのに罪悪感を抱き、申し訳ないからお土産を配る、という話も耳にします。

もし職場にお土産を買い忘れたら。どうしても気になるなら空港や駅で買うのはどうでしょう。全国の特産品がそろいます。海外のお土産の場合もネットで注文すれば数日で届くので、簡単に代用できます。

ただ、本来のお土産の趣旨から考えると、無理して買う必要はないと思います。

### 無理せず、品物より気持ちが大事

す。休暇明けの初日に、休んでいる間に職場を支えてくれた上司や同僚に対する「お礼や感謝の気持ち」を伝えることはマナーです。しかし仮に職場へのお土産を買い忘れても、決してマナー違反ではありません。手が汚れないよう配慮するなどお土産の渡し方にはマナーがありますが、買わなければいけないというマナーはありません。お土産という「品物」を渡せば済むという形式よりも、気持ちを示すことに意味があるからです。

職場でお土産を配ろうとしたら「この忙しい時に」とか「(お土産を渡す)前例を作らないで」と迷惑がられたなんて話もあります。それぞれの職場の文化を理解した上で、場合によっては職場にお土産は買わないという選択肢も、考えてみてはいかがでしょうか。

(ビジネスマナー講師

美月 あきこ)